一般社団法人日本薬物動態学会
The Japanese Society for the Study of Xenobiotics

2023 年度（後期）若手研究者海外発表支援事業
（16th EU-ISSX/DMDG）

募集要項

日本薬物動態学会では、2023 年度若手研究者海外発表支援の一環として 16th European ISSX and DMDG Meeting (https://issx2023.org/issx-dmdg/invitation-to-attend)での発表支援を募集します。

1. 趣　旨

日本薬物動態学会は薬物動態学の将来を担う優れた国際的人材の育成を目指しており、国際化推進事業の一環として若手研究者の会員の国際学会における発表を支援します。

本支援事業は日本薬物動態学会の「国際対応基金」を効果的に活用し、若手研究者の会員の関連国際学会での参加・発表にかかる費用の一部を支援するものです。

薬物動態学領域の研究に意欲的に取り組んでおり、海外研究者との交流経験を生かして、薬物動態学の発展に寄与することが期待できる若手研究者の応募をお待ちしています。

2. 支援対象者

支援対象は、下記の要件を満たす薬物動態学領域の若手研究者とします。

I. 日本薬物動態学会の会員
II. 参加学会開催時（2023 年 6 月 11 日）に以下のいずれかを満たす者
　・大学院生もしくは 6 年制薬学部の 5、6 年生
　・学位（博士）取得後５年以内の若手研究者（40 歳未満）
III. 16th EU-ISSX/DMDG において口頭・ポスター発表の演題登録、及び参加登録を完了した者

3. 支援予定者数

本事業での採用予定者は、若干名とする。

4. 支援費用

派遣に要する旅費・日当及び宿泊料、参加費として、一人当たり 30 万円を支給する。

5. 申請手続

本事業の趣旨に賛同し応募を希望する者は、「日本薬物動態学会　若手研究者海外発表支援（16th EU-ISSX/DMDG）申請書」に必要事項を記入し、推薦者（日本薬物動態学会会員）の自筆署名または捺印の上、pdf に変換してパスワードを設定し、件名を「若手研究者海外発表支援事業」として電子メールにて日本薬物動態学会事務局（maf-jssx@mynavi.jp）宛に送付して下さい。申請書に不備がある場合は審査対象とならない場合があります。

また、申請者本人の演題登録及び参加登録完了を証明できる書類も pdf に変換して上と同じパスワードを設定し電子メールに添付して下さい。証明書類の提出がない場合、選考対象外となります。

パスワードは申請書等送信メールとは別メールにて日本薬物動態学会事務局（maf-jssx@mynavi.jp）へお知らせください。申請書等を受領後、事務局より受領メールを

送信します。数日経っても届かない場合は、電子メール又は電話にてお問い合わせください。

【提出書類】
・日本薬物動態学会　若手研究者海外発表支援（16th EU-ISSX/DMDG）申請書
・申請者本人の演題登録及び参加登録完了を証明できる書類

6. 申請書類提出期限

2023 年 3 月 31 日（金）17:00

7.電子メール送付先

日本薬物動態学会事務局　「若手研究者海外発表支援事業」宛
TEL：03-6267-4550　FAX：03-6267-4555
E-mail：　maf-jssx@mynavi.jp

8. 採用決定時期

採用者は選考委員会で選考し、4 月下旬までに事務局から連絡します。なお、円滑な手続を進めるため、採用決定者は日本薬物動態学会事務局と緊密に連絡を取り合って下さい。

9. その他

(1) 選考に当たっては、発表要旨の内容の学術的価値や支援対象学会における本発表の意義、薬物動態学領域に対する貢献、学会参加期間、動態学会および関連学会における発表歴および受賞歴、等を総合的に考慮します。

応募者が多数の場合には、できる限り広い研究領域の若手研究者に機会を設けるため、同一研究室の若手研究者支援集中は避けるようにします。

(2) 本事業で採用された方は、2023 年 6 月 30 日までに、1) 発表や討論を通じて、今後の自分の研究活動に有益になると感じた点、2) 他の研究者による興味深い・有益な発表演題を 3 題以内で簡潔に解説、3) 薬物動態学会会員に伝えたいこと、4) 学会会場や採用者本人が写っている発表の写真、海外研究者との写真などを盛り込んだ報告書（日本語で 800~1000 字程度）を日本薬物動態学会事務局へ電子メールで提出して下さい。なお、報告書は日本薬物動態学会のホームページで公開する予定です。

なお、学会に参加しなかった場合や特段の理由なく期限までに報告書が提出されない場合、支援金を返金いただきます。

また、採用者の内数名には、別途、「ニュースレター」掲載用の派遣内容に関する記事の執筆を依頼する予定です。